■地域対話活動

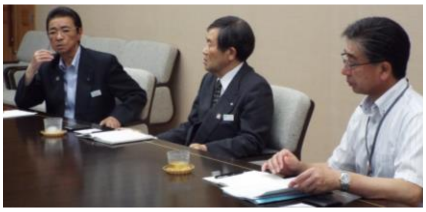
08 月 03 日から 08 月 04 日の２日間において、産業や雇用状況等の実情を把握し、格差社会対策、なんでも相談ダイヤル対応並びに政策制度要求に反映させるため、豊巻浩也（連合岩手会長），髙田公弘（県北地域協議会議長），蛇口晃（県北地域協議会事務局長）の３名が、自治体首長，関係議員，関係各所，単組役員と対話活動を行った。

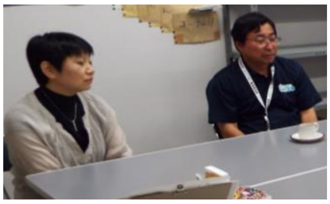
連合は、岩手県の最低賃金決定に係る労働者側の代表としての立場もあることから、主に雇用情勢について対話を図った。

各自治体は、人口減少対策，少子化対策，子育て支援，人材育成，地元就職，高齢化対策に課題を置き、今後は広域で対策を講じることも視野に入れていた。特にも、奨学金の給付を地元就職に結びつけ、医師や看護師を地元出身者で賄うといった取り組みも目を引いた。また、地元企業への就職に祝い金を給付するなど積極的な取り組みが伺えた。

単組の状況は、人員の削減等により、これまで担ってきた活動を今まで通り継続するのが難しくなってきている。

公共職業安定所の情報では、これまでの非正規求人が多かったが、正規の求人が増加傾向にある。建設や福祉は勢いがあるが、介護職は就労のミスマッチで離職も増えている。建設は高齢化が顕著。希望する職種は製造業より事務系の人気が高い。





駆け足ではあったものの２日の工程で、高教組久慈支部（久慈高等学校分会） ～ 普代村 ～ 野田村 ～ 久慈公共職業安定所 ～ 県職労久慈支部 ～ 久慈市 ～ 洋野町 ～高教組二戸支部(軽米高等学校分会） ～ 全自交玉川タクシー労組 ～ 九戸村 ～ 一戸町 ～ 東北電労二戸支部 ～ 推薦議員（及川正信市議会議員） を訪問しました。頂戴した内容は、今後の連合の活動に反映していきたいと考えています。お忙しい中、また、お暑い中、対応頂いた皆様に感謝申し上げます。